

外国語科

外国語科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 外国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、幅広い表現活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 学習の深まりを目指すスパイラルな指導に加え、英語を使用したコミュニケーションを図る場面設定等、活用することを通して定着を図るための言語活動の充実並びに発展的な学習に向けた工夫がされていること。
- 5 国際社会において相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる力を育成する観点から、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の習得を図るための工夫や配慮がされていること。
- 6 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- 7 単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。
- 8 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 9 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

外国語科

調査研究の結果の概要

■東京書籍「NEW HORIZON English Course 1」「NEW HORIZON English Course 2」「NEW HORIZON English Course 3」

豊富なイラスト，写真，図版を効果的に掲載するとともに，学習要素を毎回定位置に示すことで学習の流れが一目でわかるよう工夫されている。

各単元の流れが，「聞く・話す」「読む」「表現活動」と順序立てて学習事項ごとにまとめ，簡潔でわかりやすい基本文及び解説文で配列するなどの工夫がみられる。また，単元の始めに目標が明示され，「まとめと練習」で文法事項を整理できるように構成されるなど，基礎的・基本的な知識・技能等の習得を図るための工夫が十分なされている。各単元の最初のページには，「CAN-DO リスト」に対応した目標が提示され，単元で付けたい力についての見通しを明確に持ちやすい。

単元ごとに，日常的な場面設定による実践的コミュニケーション活動が用意され，対話のコツなどを紹介することで，表現力を高めている。また，身近な場面で使える語句一覧の掲載や，実際の使用場面を想定した言語活動の設定など，その場で考えながら話すことを重視し，表現力を高めるための工夫が優れている。さらに，既習事項を活用し4技能を統合した活動により，自己表現力を高めるための小単元が用意されるなど，場面設定と活動量の両面において大変充実しており，特徴的である。

「選定の視点」の評価結果：◎10 ○19 △0

■開隆堂「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1」「SUNSHINE ENGLISH COURSE 2」「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」

1年生時の学習内容が丁寧かつ豊富に取り扱われるとともに，音読をした回数を塗りつぶすなど，主体的に学ぶための工夫がなされている。

各単元での学習後に，聞くことや話すことの練習ページが設定され，振り返りができるよう配列されており，基礎的・基本的な知識や技能の習得のための工夫がされている。また，基本文は，短い会話文の中で導入され，生徒にとって使用場面がイメージしやすいとともに，文法事項が整理され，基礎的・基本的な内容の習得が図りやすく，巻末の「CAN-DO チェックリスト（できるようになったリスト）」では，3年間の学習を見通せるよう工夫されている。

最初に会話例を提示し，ペアで話す課題設定の中で，聞く話す活動から自分のことを話す活動へつなげ，4技能を統合的に活用できるようにするとともに，必ず書く活動で終わるよう構成が工夫されている。また，電話，道案内などのコミュニケーションの場面や言語の働きが，学年をまたいで繰り返し配置されるなど，自己表現力を高める課題が数多く設定されている。さらに，全学年を通して，多くの単元でペアやグループでの協働学習が取り入れられ，特設の「Project」では，問題解決的な学習の展開が図れるよう工夫されている。ただし，その場で考えて話す活動が不足している。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○27 △1

■学校図書「TOTAL ENGLISH 1」「TOTAL ENGLISH 2」「TOTAL ENGLISH 3」

各単元での学習後に「Review（復習）」が設定され、その都度、振り返りができるよう配列が工夫されている。また、基本文は本文に使われている英文が用いられており、わかりやすい。さらに、大単元のはじめに目標が明示され、「Check It Out」で文法事項の整理ができるよう構成が工夫されていることに加え、単元のはじめには、「CAN-DO リスト」に対応した目標が示されるなど、基礎的・基本的な知識・技能等の確実な習得を図るための工夫がされている。

与えられたテーマに基づき、自分の気持ちを伝えるスピーチ活動が各学年で設定されるなど、言語活動の充実を図る工夫がなされている。また、単元で習得した目標文や重要表現について、それを活用して「書く」活動が豊富で、基本的な技能・知識の確実な習得や自己表現力を高める工夫がなされている。身近でわかりやすい場面設定に配慮するとともに、自己紹介などの自分から発信する活動を積極的に設け、コミュニケーション力の向上を図っている。一方で、答えとなる英文が限定的で、生徒が自ら学習した内容を使って、より深く調べ、表現するための道筋や各単元からまとめまでの一連の流れが示されていない。

入門期のページでは、小学校外国語活動における内容を題材に取り上げ、生徒のコミュニケーション能力がどの程度養われているか把握できるよう工夫されている。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○2 6 △2

■三省堂「NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1」「NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2」「NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3」

「新出文法や語句の習得」から「読む・話す・書く」「文法のまとめ」と、単元の習得事項の配列が順序立てられており、わかりやすい。また、基本文が単純で文構造が理解しやすく、各単元に題材・ポイント・活動のねらいが明示されるなど工夫が十分になされているとともに、巻末の「CAN-DO チェックリスト」により、1年間の到達目標と定着内容が振り返りやすいよう構成されている。

そのパートで習得した基礎・基本を活用した表現活動が系統立てて配置されるなど、言語活動の展開に向けた工夫がなされている。また、自己紹介や将来の夢の発表などの自己表現や、クラスでのプレゼンテーションなどの話す場面や、読んだ内容について感じたことを書く場面を豊富に設定し、「映画を見るならビデオか映画館か」の即興でディスカッションができるような題材を取り上げるなど、多彩な言語活動が工夫されている。

各学年で、学び、言葉、日本文化、異文化、自然理解・防災、社会理解、人間理解の7つの分野がバランス良く配置され、多角的に考えることができるよう工夫されている。

「選定の視点」の評価結果：◎3 ○2 5 △1

■教育出版「ONE WORLD English Course 1 Essentials」「ONE WORLD English Course 2 Essentials」「ONE WORLD English Course 3 Essentials」

単元の習得事項が、4技能との関連で示され、発展的な活動まで順序よく整理されるなど、わかりやすく工夫されている。また、基本文は本文に使われている英文が用いられ、基礎的・基本

的な内容が明示されており、わかりやすい。各パートの目標提示と、巻末の「CAN-DO チェックリスト」により、前の学年や次の学年の目標を確認し、3年間の学習を俯瞰しながら学習を進めることができるよう工夫されている。

グループで情報を集め、協力して意見をまとめて発表するなど、問題解決的な学習の展開が工夫されている。また、技能をバランス良く学びながら、それぞれを向上させるコツについて学ぶページを設けることで、英語への抵抗感を低くするとともに、場面に応じて英語特有の表現を覚える工夫や調査したことをまとめ、さらに1文を加えて表現させる活動など、充実した言語活動が展開できるよう配慮されている。

各単元の学習内容を理解してから、新たに考えたことをまとめ文章を書く方法など、4技能を自ら高めるためのヒントを具体的に提示し、主体的な学びや探究的な学習を促す工夫がなされている。また、全学年に付録冊子が付いており、言語活動や自学自習の際の材料として効果的である。さらに、和食や京料理など、京都を題材とした場面設定がなされ、生徒にとって身近に感じられる。

「選定の視点」の評価結果：◎5 ○24 △0

■光村図書出版「COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1」「COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 2」「COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 3」

各単元での振り返り活動において、身近な場面を設定し、4技能を活用してできることを確認するよう配列されるなどの工夫がなされている。また、単元ごとのまとめについて、簡潔でわかりやすい基本文・解説文で表記されており、基礎的・基本的な知識・技能等の習得を図ることができるよう工夫されている。各単元の最初のページには、到達目標が「CAN-DO 形式」で明記されており、単元でつけたい力についての見通しを持ち、生徒が自己評価できるよう優れた工夫がなされている。

コミュニケーション活動の場面設定が具体的かつ明確で、「給食か弁当か」と立場を分かれて意見交換するような言語活動が設定されるとともに、他教科の内容の一部を英語で学習する発展的な題材が設定され、英語を使って「できる」という実感が持てるよう工夫がなされるなど、4技能を総合的に使った自己表現活動が設定されている。また、一人で行う活動からペアやグループで行う活動まで積極的に示され、協働して問題解決を図る姿勢と態度を養えるよう工夫されている。

まとまった分量の英語を読む力を到達目標に設定し、地球温暖化問題やそれに対する各国の取組や食料・水問題について、関連する題材を取り扱うことで、環境教育への理解を深めることができるよう工夫されている。

「選定の視点」の評価結果：◎2 ○27 △0

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料 一 外国語科一

【選定の観点 1】

外国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名	2 東書	9 開隆堂	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○各単元の流れが、「聞く・話す」「読む」「表現活動」と順序立てて学習事項がまとめられ、また、簡潔でわかりやすい基本文及び解説文で配列されるなどの工夫が優れている。 ○単元の始めに目標が明示され、「まとめと練習」で文法事項を整理できるように構成されるなど、基礎的・基本的な知識・技能等の確実な習得を図るための工夫が優れている。 ○巻末「Can-Do リスト」に「Can-Do」に対して目標が明確に提示され、学習の見通しを持ちやすく、優れている。	○各単元での学習後に「POWER-UP」として、聞くことや話すことの練習ページが設定され、振り返りができるような配列されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫がなされている。 ○基本文は、短い会話文の中で導入されており、生徒にとって使用場面がイメージしやすい。また、「英語のしくみ」において、文法事項を整理できるように工夫され、基礎的・基本的な内容の習得が図りやすい。 ○巻末「Can-Do 自己チェックリスト」で、3年間の学習を見通せるよう工夫されている。	○各単元での学習後に「Review (復習)」が設定され、その都度、振り返りができるような配列が工夫されている。 ○基本文は、本文に使われている英文が用いられており、わかりやすい。また、大単元の初めに目標が明示され、「Check It Out」で文法事項の整理ができるよう構成が工夫されている。 ○各単元のはじめに「Can-Do リスト」が示され、基礎的・基本的な知識・技能等の確実な習得を図るための工夫がなされている。	○「新出文法や語句の習得」から「読む・話す・書く」「文法のまとめ」と、単元の学習事項の配列が順序立てられており、わかりやすい。 ○基本文は、本文に使われている英文が用いられるとともに、基礎的・基本的な内容が明示されており、わかりやすい。 ○教科書の別冊が用意され、復習や家庭学習に活用することで、基礎的・基本的な知識・技能等の定着が図れるよう工夫されている。 ○各ページの目標提示と、巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、前の学年や次の学年の目標を確認し、3年間の学習を俯瞰しながら学習を進めていくことができるよう工夫されている。	○単元の学習事項が、4技能との関連で示され、発展的な活動まで順序よく整理されるなど、わかりやすく工夫されている。 ○基本文は、本文に使われている英文が用いられるとともに、基礎的・基本的な内容が明示されており、わかりやすい。 ○教科書の別冊が用意され、復習や家庭学習に活用することで、基礎的・基本的な知識・技能等の定着が図れるよう工夫されている。 ○各ページの目標提示と、巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、前の学年や次の学年の目標を確認し、3年間の学習を俯瞰しながら学習を進めていくことができるよう工夫されている。	○各単元での振り返り活動において、身近な場面を設定し、4技能を活用してできることを確認するよう配列されるなどの工夫がなされている。 ○単元ごとのまとめについて、簡潔でわかりやすい基本文・解説文で表記されており、基礎的・基本的な知識・技能等の習得を図ることができよう工夫されている。 ○各単元の最初のページに、到達目標が「Can-Do 形式」で明記されており、生徒が自己評価できるよう工夫されるなど優れている。

【選定の観点 2】

思考力・判断力・表現力等を育成し、幅広い表現活動の充実を図るための配慮がされていること。

発行社名	2 東書	9 開隆堂	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○既習事項を活用して、英語で表現する小単元では、話すことをはじめ、4技能をバランスよく育むための工夫がなされている。 ○単元ごとに、日常的な場面設定による実践的コミュニケーション活動が用意され、対話のコツなどを紹介することで、表現力を高め	○聞く・話す活動から自分のことを話す活動へステップを踏み、さらに表現活動へつなげるなど、4技能を統合的に活用できるよう表現活動が工夫されている。 ○基本表現を先に学習して、それを活用する形で本文が掲載されており、生徒にとってわかりやすい。	○「Review (復習のページ)」では、既習事項を「聞き、読み、話し、書く」ことで、学習の定着が高められるよう工夫されている。 ○習得した目標文や重要表現、語彙を使って自己表現するパートが設定されるなど、工夫されている。 ○全ての単元に、4技能を伸ばす	○既習の言語材料の知識や言語活動の技能が表現活動で活用できるよう、基礎・基本の習得から活用まで全体を通して構成が工夫されている。 ○自分で考えて話した内容を書いてまとめる活動など、4技能を一連の活動の中で使用する統合的な活	○調査したことをまとめ、さらに1文を付け加えて表現させる小単元が設定されるなど、既習事項を活用し、表現活動の充実を図るための工夫が十分になされており、優れている。 ○「Project」では、実生活に即したテーマのもと、4技能の統合的	○本文が3年間通してストーリー性があり、各単元で題材に沿った内容を自分の立場で表現させるよう工夫がなされている。 ○「Activity」では、まず基本文の構造を示し、聞き・話す活動の後、書く活動を行うことで、実践を通して、基本文の理解・定着に

<p>るための工夫が優れている。</p> <p>○「自分の夢を語る」など、各学年に3回、4技能を統合した活動により自己表現力を高めるための小単元が用意されるなど、表現活動が充実している。</p>	<p>○各学年に3回、身近な生活の場面を設定し、4技能を高めるための統合的な活動が豊富に用意されており、表現力を高めるための工夫がなされている。</p>	<p>ための活動が設定され、章ごとに4技能のうち複数の技能を統合した課題が設定されるなど、自己表現を高めるための工夫がなされている。</p>	<p>動が数多く設定されるなどの工夫がなされている。</p> <p>○表現活動では、各単元に自己紹介、自分の将来の夢、大切なものの紹介などのテーマを設定することで、思考力・判断力の育成を図るよう工夫されている。</p>	<p>な活用を通して、課題解決的な学習が展開できる構成が工夫されている。</p> <p>○基本本文を用いて、より幅広い表現活動が行えるよう、多くの語彙が提示されている。</p>	<p>つながるよう工夫されている。</p> <p>○各学年で複数の課題解決的なテーマを設定し、4技能を統合した活動が展開できるよう工夫されている。</p>
---	--	--	---	--	---

【選定の観点3】

生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。

発行社名					
2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出版	38 光村
<p>○ペア活動やグループ活動を通して、友人から聞いた情報をまとめる課題が設定されるなど、問題解決的な学習の展開が図れるよう工夫されている。</p> <p>○辞書の引き方や辞書を活用した活動を第1学年から第2学年にかけて複数設定するとともに、各学年に発音記号や音の変化、文の読み方、文章の書き方が丁寧に説明され、主体的に学習するためのヒントになっている。</p> <p>○自分好みの自由な旅の予定表を英語で作成する書き込み欄が設けられるなど、主体的に学習を進めるための工夫が充実している。</p> <p>○修学旅行で、金閣寺、竜安寺、清水寺を訪れたことが、挿絵とともに題材に取り上げられ、生徒にとって身近に感じられる。</p>	<p>○1年生時の学習内容が丁寧かつ豊富に取り扱われているとともに、音読をした回数を書き込むなど、主体的に学ぶための工夫がなされている。</p> <p>○「Project」において、全学年を通して、ペアやグループでの協働学習を取り入れられるなど、問題解決的な学習の展開が図れるよう十分に工夫され、優れている。</p> <p>○辞書指導において、演習問題が設定されるなど、辞書を効率よく使わせるとともに、主体的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>○京都と奈良を旅行した際の文章が取り上げられ、写真付きで竜安寺の石庭や湯豆腐が話題として出されるなど、生徒にとって身近に感じられる。</p>	<p>○エネルギーや環境を取り扱った単元では、英語学習に加え、エネルギー節約や環境保全など私たちの生き方についても考えることができるよう工夫され、主体的な学習を促している。</p> <p>○各単元のまとめが品詞ごとに色分けされ、既習の文法事項の語順が理解しやすい構成で、主体的な学習を促す工夫がなされている。</p> <p>○巻末の「ミニ辞典」で辞書の使い方を学べるなど、各単元では、音読練習のための発音・ストレス表記が掲載されるなどのヒントが示されている。</p> <p>○京都と奈良を旅行した際の文章が取り上げられ、写真や挿絵で清水寺、金閣寺、銀閣寺が掲載されるなど、生徒にとって身近に感じられる。</p>	<p>○巻末付録で、場面ごとに使う単語や表現がまとめられるとともに、学年ごとに自学自習の英語学習法が盛り込まれるなど、主体的な学習を促す工夫がなされている。</p> <p>○「Project」では、課題について、まず自ら考え、その考えをグループで共有・改善し、練り直した考えを発表するというプロセスを経よう工夫がなされている。</p> <p>○「辞書についていっしょに学ぼう」のページは、辞書指導が具体的に視覚的にわかりやすく説明されており、主体的に学習する際のヒントとなっている。</p> <p>○京都に関する題材は取り上げられていない。</p>	<p>○自学自習の手だてとして、各単元の学習内容を整理してから文章を書く方法など、4技能を自ら高めるためのヒントを具体的に提示し、主体的な学習を促す工夫が充実している。</p> <p>○「Project」では、グループで情報を集め、協力して意見をまとめて発表するなど、問題解決的な学習の展開が工夫されている。</p> <p>○全学年に付録冊子が付いており、言語活動の展開や自学自習の復習の材料として有効であり、優れた工夫である。</p> <p>○五重塔の挿絵とともに、和食・京料理を詳しく学んでいる場面が取り上げられるなど、充実した記述で生徒にとって身近に感じられる。</p>	<p>○イラストを付した語彙を多く紹介することで、イメージを持って、基本文を活用した自己表現につながるよう工夫されている。</p> <p>○自学自習で4技能を高めるためのヒントが紹介されるなど、主体的に学習するための工夫がなされている。</p> <p>○「Try it!」などの言語活動で、ペアやグループ活動が積極的に示され、協働して問題解決を図る姿勢と態度を養うよう工夫されている。</p> <p>○「Your Coach」で、辞書の使い方や音読の仕方、英文を読むコツ、リスニングのコツなどが紹介され、英語学習の方法と目的を意識できるよう工夫されている。</p> <p>○嵯峨野、清水寺、大仙院、清水寺の写真とともに、修学旅行で京都を訪れるという単元が設定されるなど、生徒にとって身近に感じられる。</p>

【選定の観点4】

学習の深まりを目指すスパイラルな指導に加え、英語を使用したコミュニケーションを図る場面設定等、活用することを通して定着を図るための言語活動の充実並びに発展的な学習に向けた工夫がされていること。

発行社名	2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
	○身近な場面で使える語句一覧の掲載や、実際の使用場面を想定した言語活動の設定など、その場で考えながら話すことを重視し、表現力を高めるための工夫が優れている。 ○自分の学校生活を紹介する活動や、自らテーマを設定してプレゼンテーションする活動など、言語活動の場面に設定されている。	○自己表現力を高めるための思考力・判断力を必要とする課題が数多く設定され、必ず書く活動で終わるよう構成、言語活動を通して表現力を高めるよう工夫されている。 ○多くの単元で、最初に会話例からはじまり、ペアで話す課題を設定するなど、表現活動が豊富に設定されているが、 <u>その場で考えて話す活動</u> が不足している。 ○単元の学習は、語や文法などの未習事項を学習してから、文全体を繰り返して取り扱われるなど、スパイラルな指導ができるよう配慮されている。また、3年間を通して、同じ国・テーマを、別の側面からスパイラルに扱うことで、生徒の興味・関心を高め、発展的な学習につなげる工夫がなされている。	○与えられたテーマに基づき、自分の気持ちを伝えるスピーチ活動が、各学年で設定されるなど、言語活動の充実を図る工夫がなされている。 ○「Talking Time」で、英語特有の表現がよく使われる場面などコミュニケーション場面を想定した表現活動が豊富で、本文との関連を踏まえた4技能を総合的に育成する言語活動が展開しやすく工夫されている。 ○単元で習得した目標文や重要表現を活用して書く言語活動が豊富で、基本的な知識・技能の確実な習得や自己表現力、さらに発展的な学習に向けた工夫がなされている。	○各パートで習得した基礎・基本を活用した表現活動が系統立てて配置されるなど、言語活動の展開に向けた工夫がなされている。 ○自己紹介や将来の夢の発表などの自己表現や、クラスでのプレゼンテーション、即興会話など多彩な言語活動が工夫されている。 ○本文を読まずに、挿絵の人物の動きだけを見て説明させるなど、得られた情報のみを活用して、英語で相手に伝えられるような課題を設定するなど、話すことを中心とした言語活動を生徒に意識させるよう工夫されている。 ○「聞く・話す、読む、書く」の複数の技能を統合的に駆使して取り組む課題設定が豊富で、発展的な学習に向けた工夫がなされている。	○登場人物の心情を自分の立場に置き換えて、表現する活動が各パートに設定されるなど言語活動の充実に向けて工夫がなされている。 ○各単元で4技能をバランスよく学びながら、それぞれのコツを学ぶページを設けることで、英語への抵抗感を低くするとともに、場面に応じて英語特有の表現を覚える工夫がなされるなど、充実した言語活動ができるよう配慮されている。 ○「Task」「Project」として、学んだ文法事項を活用する言語活動が各単元に配置されるとともに、4技能を統合的に活用する言語活動と関連付けて、スパイラルな指導が行えるよう工夫がなされている。	○コミュニケーション活動の場面設定が具体的に明確で、様々な場面の会話表現を豊富に取り上げるなど、言語活動の充実を図る工夫がなされている。 ○単元ごとに、4技能を用いた自己表現活動が豊富に設定され、さらに発展的な学習へつなげるよう展開が工夫されている。 ○「Go For It」では、それまでに学んだ4技能を総合的に使った自己表現活動を行うとともに、まとまった分量の英語を読む力を到達目標に設定するなど、言語活動から発展的な学習につなげる工夫がなされている。

【選定の観点5】

国際社会において相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる力を育成する観点から、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の習得を図るための工夫や配慮がされていること。

発行社名	2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
	○「Daily Scene」では、「食事の会話」「道案内」「電話の会話」など、3年間を通して、言語の働きや使用場面が明確に示され、日常	○新出事項について、使用場面や状況がわかりやすいよう、対話形式で提示するなど、コミュニケーション能力の育成に向けた配慮が	○人と知り合う際の会話として、相手の好みを探ったり、それに答えたたりする場面設定など、言語の働きや使用場面を意識した活動が	○各単元や「Let's Talk」において、様々な言語の使用場面や働きを取り上げられ、どの場面でもの語句や文法を、どのような働き	○「電話」「体調を伝える」「お店で要望を伝える」など典型的な場面設定ではあるが、ロールプレイにより習得を図るなどの工夫がな	○全体を通して、どの活動においても言語の使用場面の設定が工夫されており、コミュニケーション力の基礎が習得できるよう配慮さ

生活で使える表現が、実写とセリフを通して習得しやすいようよく工夫され、優れている。 ○今日の課題や、生徒の興味・関心を引く題材として、「イギリスの本」「アメリカでのホームステイ」などを取り上げ、国際理解を深めるための工夫がなされている。 ○テーマ別の自己表現活動が設定され、語句や文法等の既習事項と4技能を活用して自分の言葉で発信する練習ができるよう工夫がなされている。	なされている。 ○題材として、マラサンの話などに加え、自己紹介や対話を促進する技術、日本文化の紹介などを取り上げることにより、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うとともに、生徒の興味・関心を高めるよう工夫がなされている。 ○京都旅行を題材とした対話内容が、そのまま自分の体験にあてはめて転用できるなど、題材それ自体がコミュニケーション活動の基盤となるよう工夫がなされている。	設定され、その活動を通して表現力やコミュニケーション能力が習得できるよう工夫されている。 ○題材を英語文化圏だけでなく、他の地域からも取り上げ、背景にある文化・社会・生活面にも視点を広げ、英語を媒介として日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めることができるよう工夫されている。 ○生徒にとって身近でわかりやすい場面設定に配慮するとともに、自己紹介など自分から発信する活動を積極的に設け、コミュニケーション力の向上を図っている。 ○各パートに、話す活動と書く活動の課題が設定されているが、発動となる英文が定例的で、表現活動・言語活動につながりにくい。	のために使うのかを理解し、実際に活用する活動につなげられるよう工夫がなされている。 ○登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランス良く配置しており、相手の立場を尊重し、異文化を理解する態度を養うための工夫がなされている。 ○身近な場面や表現を会話の中で習得し、話す力や聞く力を伸ばす工夫が随所にちりばめられるとともに、自分の意見や考えを効果的に伝える練習や、3年間を通して言葉の機能に焦点化した言語活動を促す場面が効果的に設定され、表現力やコミュニケーション力の向上が図られている。	されている。 ○日本と世界各国を比較する題材が多く取り上げられており、その違いを豊かさとして認めることにより、国際理解を深めるための配慮がされている。 ○「Project」で、基礎的・基本的な知識・技能の既習事項について、異なる文脈や場面で使うことで、表現活動の幅を広げるなどの工夫がなされ、コミュニケーション力の向上が図られている。	れている。 ○登場人物の出身国をはじめ、世界各国の生活や文化が取り上げられるとともに、国際社会の平和と発展に寄与した日本人の実話を題材とするなど、国際理解・国際貢献への理解が深まるよう工夫されている。 ○題材の主人公の成長や人生経験を通して、自分の考えを表現する場面や、相手の思いを推察しながら意思疎通を図る場面が多く設定されるなど、コミュニケーション力の向上が図られている。
---	---	---	--	---	--

【選定の観点6】

生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。

発行社名		3 8 光村			
2 東書	9 開隆堂	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
○アマゾンの自然から環境問題について英語でまとめる課題や、ALTや海外の友人との出会いから国内の国際化を調べる課題を設けるなど、生徒の興味・関心を高め、さらに探究活動につなげる工夫が優れている。 ○ベアやグループでの協同学習を積極的に取り上げ、意見交換や発表などお互いを高め合う活動を通して表現力を高められるよう工夫されている。 ○さらに詳しい情報を求める場合など、探究意欲や発展的な学習につ	○環境保全活動が続けてきた人物の話やトルコ船の遭難者を助けた話など、生徒の関心を高めながら探究活動につながるような工夫がある。 ○全学年に「My Project」を設定し、例えばCM作製の原稿を検討し合うなどの協働的・発展的な学習を取り入れ、学んだ内容をまとめ、確かめながら学習目標が達成できるよう工夫がなされている。 ○ベアワークやグループ活動を豊富に盛り込み、その活動において、「教え合い、学び合い、高め合う」	○学年進行に伴い、題材内容を広く世界的な視野のものに移行するなど、探究意欲を高めるよう構成が工夫されている。 ○生徒が自ら学習した内容を使って、より深く調べ、表現するために道筋が示されておらず、各レッスンからまとめまでの一連の流れが示されていない。 ○自学自習に役立つ情報が随所に配置されるなど、生徒の自己学習力を高めることが図られている。	○自己紹介や自己表現、プレゼンテーション、即興会話など、多彩な言語活動で生徒が個性や創造性を発揮できる場面を豊富に設定することで、探究意欲を高めるよう配慮されている。 ○ベアやグループで協同して活動に取り組むことができるような課題が設定され、意見交換や発表をすることでお互いが高まるよう配慮されている。 ○スピーチやプレゼンテーションなどの話す場面や、読んだ内容について感じたことなどを書く場面	○生徒自身が調査を行い、調査で得た情報を整理するマッピング手法を用いて、新たに考えたことをまとめる活動など、探究意欲を高め、発展的な学習を促す工夫がなされ、優れている。 ○単元の「Project」では、基礎的・基本的な知識やスキルを使って、生徒自身が考え、発言し、話し合い、協同して作り上げるといった体験を通して、探究意欲を高めるよう工夫がなされている。 ○課題解決学習に取り組んでいる主人公が、老舗料亭を訪れ、日本	○「Go For It!」で、グループで意見交換し、調査し、スピーチするなどの活動を行う過程で、探究意欲を高め、話す力を高めるよう工夫がなされている。 ○一人で行う活動から、ベアやグループ学習に広がっていくよう構成されており、他者と協同し問題を解決しようとする姿勢を養えるよう工夫されている。 ○他教科の内容の一部を英語で学習する発展的な題材が設定され、英語で学ぶ体験とともに、英語を使って「できる」実感が持てるよ

なげるよう工夫されている。	協働学習の観点を加え、より発展的な学習につながるよう工夫されている。		を豊富に設定し、表現活動をさらに発展的な学習につながるよう工夫されている。	料理を学ぶ単元では、うまみ成分の発見について学んだことを活用して、発展的な学習につながるよう工夫されている。	う工夫されている。
---------------	------------------------------------	--	---------------------------------------	--	-----------

【選定の観点 7】

単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。

発行社名					
2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
○第1学年の冒頭に、2つの入門パートが設定され、小学校外国語活動で慣れ親しんだ英語を学ぶ「楽しさ」を引き継ぎ、中学校での学習に系統的につながるよう工夫されている。 ○人物伝などの多様な題材を取り上げ、他教科をはじめ、環境、防災・安全など多くの教育課題との関連が図られている。	○入門期の「Let's Start」で、アルプアベットの練習のページを設け、音声を文字に視覚的に結びつける活動を導入に設定するなど、小学校外国語活動の内容を振り返ってから中学校の学習に入れるよう系統性に配慮されている。 ○環境保全や勤労、平和、人権等に加え、外国の日常生活や風俗習慣、文化等についての題材を取り上げ、環境教育や道徳教育等との関連が図られている。	○入門期のページで、「会話を聞いてみよう」「自己紹介をしよう」など、小学校外国語活動での内容を題材に取り上げ、生徒のコミュニケーション能力がどの程度養われているか把握できるようよく工夫され、優れている。 ○伝統文化、風俗習慣、環境保全などが取り上げられ、多様なものの見方や考え方を理解し、豊かな心情を育てるよう道徳教育等との関連が図られている。	○小学校外国語活動で慣れ親しんできた「聞く」活動を学習の導入に位置づけ、単語や表現、活動を振り返ることから、中学校英語学習へ接続するよう系統性に配慮されている。 ○自分の将来、平和、科学、環境、生命の尊重、伝統文化などの題材がバランスよく配置され、生き方の探究（キャリア）教育、道徳教育等との関連が図られている。	○第1学年の巻頭部分に、小学校外国語活動で育まれたコミュニケーション能力の素地を確認する単元を設けるなど、小学校外国語活動から中学校英語学習への系統性を踏まえた配慮がなされている。 ○水問題や動物の生態等についての教材を通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう環境教育や道徳教育等との関連が図られている。	○小学校外国語活動の学習内容を考慮し、音声を中心とした活動から文字にも無理なく親しんでいけるよう構成が工夫されるなど、接続が円滑に行われるよう配慮されている。 ○地球温暖化問題やそれに対する各国の取組について取り上げ、また食料や水問題などについてトピック的に扱うことで環境教育への理解を深めるようよく工夫され、優れている。

【選定の観点 8】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の観点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名					
2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
○ノーベル平和賞の受賞者の紹介や「世界の友達の好きなこと、ものを知ろう」など、国際貢献や異文化尊重などの心情と態度を養うよう題材が配慮されている。 ○第2学年の「The Carpenters Gift」では、自己の確立や他者との関わりを通して、生徒の心情に訴える読み物教材を取り上げるなど、豊かな情操と道徳心を養うよう配慮されている。	○「マララ・ユスフザイの実話」など、全体を通して、人権の尊重に配慮された題材が取り上げられている。 ○「Walk the World」という「歩くことによるチャリティー活動」をはじめ、日本と諸外国の話題を幅広く取り上げ、より広い視野と公正な観点からのものの見方を養うよう工夫されている。	○「アンネの日記」、鯨の生息、オーストラリアの野生動物などを取り上げ、生命尊重、環境保全等に寄与する態度を養うよう題材が工夫されている。 ○「泣いた赤鬼」など道徳教育との関連とともに、英語を母語とする国だけでなく、インド、南米など様々な国を取り上げ、国際理解や異文化理解につながるよう工夫されている。	○各学年で、学び、言葉、日本語、異文化、自然理解・防災、社会理解、人間理解の7つの分野がバランス良く配置され、多角的に考えることができるようよく工夫され、優れている。 ○「キング牧師の生涯」やカンボジアで地雷除去作業を続ける人の半生を通して、人権や平和、国際貢献等について考えることができるよう工夫されている。	○「アンネの日記」、盲導犬、水問題など、生命尊重、特別支援、環境保全等について、多角的に考えさせることができるように工夫されている。 ○「Soccer Robot」など中学生の興味・関心の高い話題のほか、人権や道徳について考えさせる題材を取り上げ、自尊感情を高め、互いを尊重し、認め合うことの大切さを学ぶよう配慮されている。	○「地雷のない世界を目指して」「環境問題のブログ」などで、平和や社会貢献について考えることができるよう工夫されている。 ○ブログで世界の中学生が意見交換する場面を設定し、環境問題についてフランスやケニアの中学生が自国の取組を説明する様子を紹介することで、環境を身近に捉え、自然愛護について考えることができるよう工夫されている。

【選定の観点9】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

発行社名	2 東書	9 開隆堂	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
	<p>○A B版で幅が広く、行間や字間にゆとりがあり書き込みやすい。また、豊富なイラスト、写真、図版を効果的に掲載するなど、優れている。</p> <p>○学習要素を毎回定位置に示すことで、学習の流れが一目でわかるよう工夫されている。</p> <p>○支援が必要な生徒をはじめ、すべての生徒の色覚特性に適合するよう研究者による検証を行うなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○再生紙や植物油インキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○A B版のゆとりある紙面で、活字は大きく、行間も十分にとられたレイアウトである。</p> <p>○支援が必要な生徒をはじめ、すべての生徒に使いやすいよう、単元ごとに色が全学年で統一され、検索しやすく学習上の便宜が図られている。また、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○環境に配慮した用紙やインキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○携帯しやすいB 5版で、色調は見やすく、図表や写真・挿絵も豊富である。</p> <p>○色使いは目に優しく、レイアウトも含め、支援が必要な生徒をはじめ、誰にでも見やすくなるようユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○環境に配慮した用紙とインキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○A B版で幅が広く、行間や字間にゆとりがあり、グラフ・地図などの図版や記号などのレイアウトも工夫されるなど、優れている。</p> <p>○配色へのカラーユニバーサルデザインの採用をはじめ、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○環境にやさしい用紙と植物油インキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○携帯しやすいB 5版で、デザインは統一され、イラストや写真を多用することで、生徒の理解をサポートしている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインは第三者機関による審査及び認証を受けるなど、色覚等の特性のある生徒も含め、すべての生徒にとつて学びやすい紙面で、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○再生紙や植物油インキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○A B版で幅が広く、行間や字間にゆとりがあり、見た目がすっきりしている。</p> <p>○支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面になるよう、重要語句やタイトルが太ゴシック体で強調され、登場人物やイラストの色や輪郭をはっきりさせるなど、すべてのページにユニバーサルデザインと特別支援教育の観点での工夫がなされている。</p> <p>○再生紙や植物油インキを使用し、造本も堅牢である。</p>

外国語科 観点別・視点別評価 「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る 「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の柱		選定の観点	選定の視点		東京書籍	開隆堂	学校図書	三省堂	教育出版	光村図書
1	基礎的・基本的な知識・技能	外国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	内容の配列・選択	◎	○	○	○	○	○
			2	基礎的・基本的な内容の定着	○	○	○	◎	○	○
			3	学習課題や目標の明示とまとめ活動の工夫	◎	○	○	○	○	○
			4	「Can-doリスト」の提示	◎	○	○	○	○	◎
2	思考力・判断力・表現力等	思考力・判断力・表現力等を育成し、幅広い表現活動の充実を図るための配慮がされていること。	1	既習事項の活用	○	○	○	○	◎	○
			2	表現活動の充実	◎	○	○	○	○	○
			3	4技能を統合した活動の充実	◎	○	○	○	○	○
3	学習意欲	生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。	1	主体的な学習を促す工夫	◎	○	○	○	◎	○
			2	問題解決的な学習の展開	○	◎	○	○	○	○
			3	辞書指導や巻末資料等の充実	○	○	○	○	◎	○
			4	京都に関わる内容	○	○	○	△	◎	○
4	言語活動の充実	学習の深まりを目指すスバイラルな指導に加え、英語を使用したコミュニケーションを図る場面設定等、活用することを通して定着を図るための言語活動の充実並びに発展的な学習に向けた工夫がされていること。	1	表現力を高める工夫	◎	○	○	○	○	○
			2	話し合い活動・表現活動など言語活動の充実	◎	△	○	○	○	○
			3	スバイラルな指導等から発展的な学習への展開の工夫	○	○	○	○	○	○
5	各教科独自の観点・他教科等との関連	国際社会において相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意見を表現できる力を育成する観点から、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の習得を図るための工夫や配慮がされていること。	1	言語の働きや使用場面の理解を促す工夫	◎	○	○	○	○	○
			2	国際理解・多文化共生に関する工夫	○	○	○	○	○	○
			3	言語活動を通じたコミュニケーション力の向上を図る工夫	○	○	△	○	○	○
5	生涯にわたって学び続ける力（問題解決的な学習、探究能力の充実）	生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につなげるよう考慮されていること。	1	探究的な活動を促す工夫	◎	○	○	○	◎	○
			2	協同的な問題解決的な学習の展開	○	○	△	○	○	○
			3	発展的な学習への展開	○	○	○	○	○	○
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。	1	単元構成の系統性や発展性	○	○	○	○	○	○
			2	他校種との関連	○	○	◎	○	○	○
			3	他教科・他分野との関連	○	○	○	○	○	◎
7	基本的人権の尊重・道徳性の育成	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の観点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けた工夫や配慮がされていること。	1	国際理解や異文化尊重など人権教育の推進	○	○	○	◎	○	○
			2	道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○
7	基本的人権の尊重・道徳性の育成	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。	1	文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ等	○	○	○	◎	○	○
			2	装丁や紙面のレイアウト	○	○	○	○	○	○
			3	堅牢な造本	○	○	○	○	○	○
			4	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○